



字音假字用格序

舊カ紳名流シ斐然ハ黼黻ニ具章ラ者ハ代

不カ鮮ニ矣ハ然シ論ス學ハ識ラ則チ寥ク々ト聞ク

烏ハ方ハ今ハ昭ク代ハ之ハ化ス文ハ運ニ渙シ發ス

豪傑ハ之ハ士ハ勃ク烏ハ崛起ス先ニ有テ契ニ冲ク

明治廿四年十月廿日購求

○序一

氏○而後有縣居翁○一則龍舉浪
華○一則虎視江門○盛唱復古之
學○海內為之一新○然是猶擅力
訓詁○未遑及修辭也○嗟夫併文
藻○典學識而大成焉者○吾未見

其人○果其無人乎○吾本居先
生○抱命世之才○學術精博○覈究
永言之妙○其於歌也○翱翔八代
之際○而衆美具之○其於學也○紹
明二公之業○而成功過之○吾所

謂其人^{ナルカテ}也哉。斯編也。講業之暇。○
為^ニ問字音假字者。而作也。其說
詳審精覈。一展卷。則瞭然在目。
矣。○可謂萬世不朽之準則也。至
如其發^キ喉音三差之義理^{スルカオ}。辨於^中

乎二音之錯置。則非命世之才。
學術精博者。豈能至於此哉。○蓋
字音假字也。係於百家之學也。○
操槩之士。不可不知。操槩之士
不可不知。○則是書不可不觀。是

書不可不觀則可以傳テ天下後
世ニ兵為之序カ

安永四年春三月

門人 須賀直見謹撰

モジゴロノカ
字音カ
那豆河比乃序

カラモジノコエ
漢字ももち
めら本波國人之名

ナスササヒ
成位以
理平字取於
環出ニ

心手茂ハ
經大御國之
難而存

トハ
心手茂ハ
經大御國之
難而存

フニモキタナククヨムニ
 二毛俚を久補禱ニ為敬行
 九互大い大志代庭子十小升
 兼竹五十藤曰之字同為者
 由摩自倍之由藤子年松甫彼
 強有其國籍も不水垣之久時

ヨリツタハリキニテシアリク
 所傳來去而之在邪禮等通
 是禮慣中習而也ト遠歴麻
 麻通に自然俚如母不志愛都
 じも不取思化も為る水一赤
 解とあ更甫文不云内日來程

Sublim ash

○二序五

ナルガユエニ。オレイムサキコノスヂノフミ
 在之故ニ己生曰此決運之也
 ラカレコノコノナニクレトトリイデタツ
 學彼之此之何何アコ取出者
 子ツク。タ、レノミチノタシキラサタメ
 索下。多、志能原之正伎土如定
 テ。レギノハ子カキカキツメオキツルニ
 而。言。氣。之。相。招。撥。書。意。意。語。二
 又。此。儂。子。し。而。由。奈。持。思。乃。而
 又。此。儂。子。し。而。由。奈。持。思。乃。而

ルコトイサカアゲウラヒタ
 ルラレモハレツカタニクハハ
 多事放次多福字おあ輝字か
 テ。コレノヒトニキトハナレツ。トキハ
 而。許。禮。能。一。卷。乃。藥。本。部。時。也
 アムエイノヨトセトイフトレムフキノトラカノヒ
 安永之四季去申正月之十日
 カクイフハイセヒトモトヲリノノリナガ
 如是之者伊集人本兵衛室長

字音假字用格

目錄

喉音三行辨 四

三行分生圖 五

おを所属辨 七

字音假字總論 七

字音開合指掌圖 十七

字音假字三會圖 十九

凡例 廿五

輕重等第圖 六

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

いぬ之假字

四七

いぬ 四七
いやく 四九
いやく 三十一

いゆ 四七
いやく 四九
いやく 三十一

いよ 四七
いよ 四九
いよ 三十一

いふ 四七
いふ 四九
いふ 三十一

えゑ之假字 四一

えゑ 四一
えゑ 四二
えゑ 四三
えゑ 四四
えゑ 四五

えゑ 四一
えゑ 四二
えゑ 四三
えゑ 四四
えゑ 四五

えゑ 四一
えゑ 四二
えゑ 四三
えゑ 四四
えゑ 四五

えゑ 四一
えゑ 四二
えゑ 四三
えゑ 四四
えゑ 四五

おを之假字

附 あ 四 五

おを 四一
おを 四二
おを 四三
おを 四四
おを 四五

おを 四一
おを 四二
おを 四三
おを 四四
おを 四五

おを 四一
おを 四二
おを 四三
おを 四四
おを 四五

おを 四一
おを 四二
おを 四三
おを 四四
おを 四五

か行の假字

四九

か行 四九
か行 五〇
か行 五一
か行 五二
か行 五三

か行 四九
か行 五〇
か行 五一
か行 五二
か行 五三

か行 四九
か行 五〇
か行 五一
か行 五二
か行 五三

か行 四九
か行 五〇
か行 五一
か行 五二
か行 五三

さ行の假字 四四

さ行 四四
さ行 四五
さ行 四六
さ行 四七
さ行 四八

さ行 四四
さ行 四五
さ行 四六
さ行 四七
さ行 四八

さ行 四四
さ行 四五
さ行 四六
さ行 四七
さ行 四八

さ行 四四
さ行 四五
さ行 四六
さ行 四七
さ行 四八

た行の假字 四六

た行 四六
た行 四七
た行 四八
た行 四九
た行 五〇

た行 四六
た行 四七
た行 四八
た行 四九
た行 五〇

た行 四六
た行 四七
た行 四八
た行 四九
た行 五〇

た行 四六
た行 四七
た行 四八
た行 四九
た行 五〇

な行の假字 四八

な行 四八
な行 四九
な行 五〇
な行 五一
な行 五二

な行 四八
な行 四九
な行 五〇
な行 五一
な行 五二

な行 四八
な行 四九
な行 五〇
な行 五一
な行 五二

な行 四八
な行 四九
な行 五〇
な行 五一
な行 五二

は行の假字 四八

○ひやう 四十九
ひやう
ひやう
ひやう

ま行之假字 五十

○まやう 五十
まやう
まやう
まやう

ら行之假字 五十

○らう 五十
らう
らう
らう
らう
らう
らう
らう

濁音ぶぢぶぢ之假字 五十一

韻いの之假字 五十三

下中、之之假字 五十四

韻む之假字 五十四

目錄終

字音假字用格

本居宣長著

此書ハ漢字音ノ假字ヲ正サン為ニ著セリ凡其字音此方ニ古ヨリ傳用ルトコロ漢吳ノ二ツアリ又是ニ近世傳ル唐音ト云モノヲ加ヘテハ三ツニ此三ノ音ノ事ハ予別ニ漢字三音考ヲ著シテ委ク辨セリサテ此中ニ彼唐音ト云モノハ古來ノ傳ニ非ズノ世ニ普ク用ル者ニモ非レバ是ヲサレオキテ今ハタゞ漢吳二音ノ假字ヲ論辨ス抑此字音ノ假字ノ常ニガヒヤスキハ多クハノト引音ニアリあゝトコトコトコト混ジキヤノトキコトコトキコトコトニギル

ル類之然レモ是ラハ其所屬ノ韻ニヨリ又其入聲ノ字ナドニテモ
 分ル、フナルガタバ辨ヘカタクハ喉音三行 アイウエオ。ヤイユノ差別
 エヨ。ワヰウエヲ
 ニテ其いのえおをノ假字ハ字音ノミナラズ御國言ニ於テモ
 後世多クハ錯乱シテ善ク是ヲ辨ル人無レテ數百年ヲ経テ然
 ルニ近世難波ノ契冲僧始テ是ヲ考ヘ出シ和字正濫抄ヲ著セ
 ルヨリ古ノ假字再ビ世ニ明ラカニナリヌルハ比類ナキ大功ナリソノ
 後古學ノ道イヨク開ケテ古言ノ假字ツカヒニオキテハ今ハ遺漏
 無キヲ 近年出来タル古言
 據便リヨキ書シ 字音ノ假字ニ至テハ未詳ニ考ヘ定メヌル
 モノナクシテ喉音三行ノ假字ハ殊ニ明ラカナラズ故ニ今先此三行ノ

義ヲ辨ズルノ如シ

喉音三行辨

先大御國ノ喉音ニあやと三行ノ差別アル所以ノ原ヲヨク明ラ
 メオキテ後ニ字音ノ假字ヲ論ズベシ抑此三行ハあいうえおヨリ
 分レタル音ニシテ其本ハ一ナリサテ一ニシテ三ニ分レタル所以ハあいう
 えおノ五音ノ下ヘ又各あいうえおノ五ノ音ヲ重ヌレバ自然トツ
 マリテやいゆえよわぬうゑをノ音トナルユエニ別ニ此二行ハアル
 ナリ 喉音ニノミ此差別アリテ餘ノかさたあえまらノ七行ニハ是無キ
 ハイカニト云ニツツヤ行ニ行ノ音ハモトニ音ツ重ナリタルモノナレバ其ハ
 イハユル抑音ニ然レモ喉音ハ餘音ニ類せず柔輒隱微ナルユエニ音ツ重
 ナレバオノツカラツマリテ直音ノ如クナルユエニ此二行ノ音トナルニ餘ノ七行

喉音三行分生圖

(中)									
ア									
ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア
オ	エ	ウ	イ	ハ	オ	エ	ウ	イ	ハ
ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ
オ	エ	ウ	イ	ア	オ	エ	ウ	イ	ア
ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ
オ	エ	ウ	イ	ア	オ	エ	ウ	イ	ア
ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ
オ	エ	ウ	イ	ア	オ	エ	ウ	イ	ア
ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ
オ	エ	ウ	イ	ア	オ	エ	ウ	イ	ア
ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ

ハニ音ヲ重ヌルトキハニ音ニ分レテサダカニ抑音ニシテ
 一音ニツヅミルヲナシ故ニ喉音ノ外ハミナ單行ナルシ
 故ニ古言ノナクニ
 あいゝえふノ音ノ重ナリタル言ハ一ツモアルヲ無シ是其明證シ
 老肖^オナドノいえハヤ行ノいえナル故ニふゆあゆトモ活用セリ又地名ニ秋
 田ヲ阿伊太。置賜ヲ於伊太三トアル伊ナドハキノ轉ナレバ今ノ例ニアラズ
 サテヤ行モわ行モあ行ヨリ生ズル音ナルユエニ三行ニ分ルトイヘ
 或ハ髣髴トシテ一ツナルが如ク一ツカト思ヘバ又サダカニ三ツニシテ古ハ
 混淆スルヲサラニ無リキ然レバ此三行ハ是レ字音ヲ辨ズルニモ亦
 緊要ノ事ニウクク會得スベシ
 韻學家ニ喉音ヲ論セルヲアレバ皆
 古言ニ味クシテ三行ノ嚴然トノ相混
 ズミジキ義ヲ知ラザル故ニ音混雜レテヤ行ハ畢竟無用ノ長物ノ
 如シ又御國ノ音韻ハ甚悉曇ニ似タルヲ多シ然レバヒタスラニ彼法ニヨ
 リテ是ヲ治スルトキハ又違フヲ多シ殊ニ喉音三行ハ吾古言ノ音ヲヨ
 ク解セル者ニアラズハ其義ヲサトルコトアタハジ

又神樂サイハ
哥古本ニ長引
テウタフ声ニハ
其韻ノ安以キ
於ノ字ヲ下ニ添
書ルニこそとの
とよろを
ハミナ於ノ字ヲ
タリ求テ子ヲ
波礼衣ヲ着
留智哉能
於乃於此古於
川ニ与呂川世
不止於毛於以
者安可者安良
之トアルカ如
又阿行ノ第五
於ニテテ
一證ナリ

肥伊備中郡名都宇 近江越後ナリノ郷 同國郷名弟 勢 薩摩郡名

穎娃 江 和泉郷名呼啖 平ノ神名 式男ニ作 参河郡名寶飲 種今本飲 誤リ 日向郷名

觀啖大隅郡名嚙啖コレラ皆同シ然ルニ呼啖寶飲觀啖嚙啖トニ

假字ヲ加ヘスレテ皆ハニ用ル飲啖等 假字ヲ加ヘル 契沖大隅ノ嚙啖ニ 疑ヒラナレテ平ノカク

和泉ノ呼啖ナドニハ心ツカザリシニヤ 凡テ韻ハわいゝえハニ限レルコ

トナレバ是又阿行ハハナル明證ナリ 諸國郡郷ノ名ハ和名抄ニ載テ其文字 ハミナ奈良長御代和銅神龜ノコロ詔命ニ

ヨリテ定ミリシテ、サテ又わいゝおノ四音ハ語ノ中ニ在リハ省ク例多シ

ナレハイト乱シ ハ古言ヲ解セル人ハミナヨク知コトシニハ、ヒノ連声ニアル韻ハあへうあへしモ 省キテ誦テ之充テる市ヲち石ヲを盤ヲも誦テ、ウ海ヲみヒラヘ馬ヲま面ヲヒ

を、省ク例ナレコレ又ハ阿行ニテわいゝト一例をハ阿行ニ

テ其例ニ非ル故ナリ又歌ニ五モジヒモジノ句ヲ一モジ餘シテ六モジハモジ

ヨムアル是必中ニ右ノわいゝおノ音ノアル句ニ限レルコトシ エノ音ノ例 ナキハイカカ

古今集ヨリ金葉詞花集ナドミテハ此格ニハツレタル歌ハ見え

自然ノコトナル故ナリ 万葉以往ノ歌モヨク見レバ此格ニ千載新古今ノコロヨリ 此格ノ乱レタル哥ヲリク見ニ西行ナド殊ニ是ヲ犯セル

其例ヲ一ニイハレ源信明朝臣ほのぐとろ 歌多

ルモジミナ右ノ格ナレバ又後ノ歌ナガラニ條院讚岐ありを

ニ餘リテ六モジアリ其中ニ第二句ノマハ啖音ナガラ阿行ノ格ニ非ル故ニ此

句ハスコレキ、ニクシ其他ノ四モジハ皆右ノ格シ故ニ多ク餘リタレモ耳ニタ、ザ
ルハ自然ノ妙シ 右ノ二首ハ後世ニ字餘リノ例ニ引、哥シ然レモ右ノ定格ノ有ル
コトヲ知ル人ナレ是ハ予ガ始テ考へ出セルトコロシ可秘シ
然レバオノヅカラニ如此、格ノアルモハハ行ナルツノ證シ、○次ニ字音ニ
ツキテイハ、諸ノ古書 天曆
以往ニオトをトノ假字ニ用タル字トモヲ考ルニハ
わ行。をヲわ行トスルトキハ悉ク韻書ノ上日ニ符合ス下ニ一々舉タル字
ノ下ヲ檢テ悟ルベシ若シ舊慣ノ如クをヲわ行。ハヲわ行トスルトキハ悉
ク輕重錯乱シテ一字モ音韻ニカナフ者アルコトナレ、○五十連音圖ハ
モト悉曇字母ニ依テ作レルモノナルガ 其由ハ別ニ
委辨セリ 其悉曇ノわい、う、え、おニ
各短長ノ二音アル其ハ短長ヲ大日經金剛頂經文殊尚經及華嚴

續刊定記空海悉曇釋義等ニハ汗奧ニ作り涅槃經ニハ鳥炮ニ作
リ大莊嚴經ニハ鳥燠ニ作り寶月三藏ハ鷗奧ニ作り難陀三藏ハ于
奧ニ作り智廣字記ニハ短奧長奧ニ作レリ安然ノ悉曇藏ニ見エタ
リカクテ其鳥字ハ御國ノ古書ニをノ假字ニ用ヒ汗モ又をノ假字ナレハ
わ行ハナホ舊ノ如クをナルベシト思フ人モアルベシモ凡テ悉曇ノ對譯ノ
字ニテい、え、お、をハ分リ難キコトシイカニト云ニツ同梵音ニ對譯ノ
字ハ彼ト此ト音ノ異ナルヲ多シ是五天竺ノ風土ノ音ノ異ノミニモ非ズ又
翻譯者ノ時世郷里ノ音ノ變異ノミニモ非ズ多クハ漢字音ノ正シク
梵音ニ當リガタキ故ニ何ゾト云ニ同中天同南天ノ音ヲ同時代ニ傳ヘ

タル書ニテモ對譯、字、音ハ一同ナラズ同書ノ内ニテヌラ混雜セルモノ少
 カラズ一ニライハカノ金剛頂經ニ長、ハニ汗、引、短、ハモ汗、ハアル是ニラ
 ハ引ト註シタレボ、トハトハタバ引ト否ルトノ異ノミナラシヤ梵音ハ必ス差
 別アルベキラ同ク汗、字ヲ當タルハ漢字、音ニテ混セル、明ラケレ又大莊嚴
 經等ニハ短、ハニ鳥、^上長、ハニ鳥、短、ハニモ鳥トアリ空海釋義ニハ長、
 ハニモ汗、^長短、ハニモ汗、^長トアリコレラ又長、ハト短、ハト全ク混セリ、ト
 ハトハ豈長短ノ異ノミナラシヤ又涅槃經ニハ長、ハニ野、字ヲカキ、口餘ノ
 書ニハ多クヤノ音ニ野、字ヲカケリ是又ハトヤト混セリ凡テ梵音ハ如此、
 混雜スヘキヤウチレ悉曇ノ十二音ハ殊ニ正レク分レズハアルベカラズ此音亂ル、

トキハ生字ノ音モ隨テ皆亂ルベシ然レバ是皆梵音ニ正レク當ル漢字ノ
 得カタキ故ニ譯者ノ心々ニテ音ノ似タリト思フ字ヲ當タルモノニテ或ハ上
 声去声或ハ短呼長声或ハ声近、某字或ハ鼻声彈舌ナド、サマ、ハニ
 註セリ又後人ノ註釋ニモ某字某々反本音、某々及ト云ヒ或ハ不依
 字ナド云ルモ對譯ノ音ノ梵音ト合サル故ニ既ニハトヤト混レ、ト
 ハトサヘ混セルウヘハ何ソハトヤトヲ分ツコトヲ得シカノ寶月ノ譯ノ鷗、
 字ハハ、ハノ假字、字記ノ奧、字ハハ、ハノ假字ニテコレハ共ニ開口音ナレ
 ハハニ近クレテをニハ遠ケレバカノ鳥等ニ作ル者ト合、ズナホ又慈覺ノ
 記ニハ短ニ於、字ヲ用テ以本郷音呼、之ト註シ長ニ奧、字ヲ用タリ他ノ

諸書ニハ多ク短ニハ汗鳥于等ノ字ヲ用タルニ慈覺ヒトリ改テ此於
 字ニ作レルハ三藏ノ口ニ呼^フトコロノ梵音ヲ親ク聞テをニ非ズナルヲ
 辨別^{ワキ}ヘタルユエニ御國人ハ其コロモおトをトノ音差別アリテ兒童モ
 オノヅカラヨクワキヘツバ彼人ノ聽^キ分^リレト勿論ニ以^テ本郷^ノ音^ヲ呼^フ之^トア
 ルニテ御國ノあいうえおハおニシテをニ非ル^イヨク明ケレ但レ五
 十連音圖ヲ作りシ人ハカノ諸書ノ對譯ノ汗鳥等ノ字ニ依テあ行ニ
 をヲ置ルモ知ガタレ又後ニ誤テ入^チガヒタルニテモアルベシタトヒ作者ノ意
 ニテ本ヨリ然ルニモアレサマウニテハ御國ノ音韻ニ協ハサル^上ニ奉^タレ
 諸證明白ナレバサラニ疑ズキニアラズ其ウヘカノ慈覺ノ於ニ改レラ思ヘハ悉

曇ノ方ニテモあ行ナルハ真ノ梵音ハおナルヲ鳥等ノ字ヲ以テ譯セシハ
 漢字音ノ正レク當ラザル^ト明^ラケキ物ヲヤ

字音假字總論

契沖又和字正濫要畧ヲ著セル中ニイサ、カ字音ノ假字ニ云及セル
 コトアリ其説ニ反切ノ上ノ字ヲ以テいぬええを^お等ヲ分ツベシト云ルハ
 誤ニ假字ハ反切ニテ分ル^トニ非ズ此ハ或人モ既ニ難破セリ契沖ハカ
 バカリノコトヲ考ヘ誤ルヘキ人ニハアラザルヲ是ハ深ク心ヲ用ズレタバ^ト
 ワタリノ理ヲ以テフト定メタル説ト見エテ其證例ニアゲタル字ノ反切
 既ニソノ假字ニ合ズマレテ其餘ヲヤ

強テ反切ヲ以テ分ントナニハ韻字ニ
 ヨルベシ韻字トハ下ノ字ヲ云嗑音ノ

三行ハ韻字ニテ分ル、○或人喉音假名三異辨ト云モノヲ著シテカノ
 所由ハナキニレモアラズ
 要畧ヲ破レタルハニコトニイハレタリ然レテ其説ニ云、凡字音ノ假名ニ
 いぬをふえゑノ三異アレバ其究竟ヲ尋ルニ全ク達例アルニ非スマタ
 是ヲ韻書ニ考ルニ憑据スルトコロ無レ然レバタ、何ノ故ト云フモナク
 古来傳來タル慣例ナルベレクセハ法則ノアルベキ謂ナシ又云日本
 ノ字音ノ假名唐ノ反切ニ符合スベキ理ナレ各別ノイイカニトイフ
 ニ唐ノ反切ハ三十六字ノ所屬ニテ切字ヲ定ム喉音ニ影曉匣喻ノ
 四母アリ各々同シカラズ日本ノ音ノ假名ニハ喉音あじやノ三ツノミ
 アリ又其中ニいノえノ三ツハ兩屬ノ假名ニサテ又あじやノ三喉音

ニテ唐ノ影曉匣喻ノ四喉音ヲヨムニ似タルモノハ影喻ノ三ニテ匣曉ニテ
 ハあじやニ係ラスコレヲ以テ、音ノ反切ト日本ノ字音ノ假名ト各別ノ
 コトニテ牽強スベカラザルヲ知ベシ以今按此説理アルニ似タレバ非ナリ
 是々影曉匣喻トあじやレヲ引合スルニ合レ難キヲヲノミ思ヒテ唐
 ノ反切ト此方ノ字音假字トハ各別ノ一ト謂ヒ韻書ニ憑据スルトコロ
 ナレトスル是々字母ニノミ泥ニテ其他ヲ考ヘサルモノシあやわノ異ハ
 字母ニ係ルヲニハ非ス別ニ所由アルコトナルヲ何ゾ深ク尋子ザルヤ今ヨ
 ク考ルニ古書ノ字音ノ假字悉ク法則アリテ韻書ノ音ト契合スルコ
 トナルヲ何ノ故モナクタゞ古ヨリ傳來タルクセシトハイカナル妄説ゾヤ凡

テ近キコロノ學者ニハ此說ノ如キ見解ナル者多シ心スベキコトナカシ
 ○或說ニ字音ノ假字ハ連用ノ音便ニ從テ轉スルヲ多シ一例ニ定ムカ
 ラズト云モ非ナリ凡テ御國言ニモ字音ニモ音便ニテ假字ノカハル例ア
 ルトナレ此外モ俗書トモニ云ルコトトモアレド凡テ論スルニ足ズ○京師ノ
 韻學僧文雄ノ說ニ云ク喉音いぬえをれノ假字古何ニ依ルト云フ
 知カタレトイヘ今ヲ以テ准擬スルニ以伊已夷意異等ハ悉ク韻鏡ノ閑
 轉ノ字ニ爲章委威圍遺謂位等ハ悉ク合轉ノ字ニ又盈衣假要
 曳愛等ハ悉ク閑轉ノ字ニ惠慧衛會回晝穢等ハ悉ク合轉ノ字
 ニレラ一ツモ混雜セルヲ無シ然レバいぬえハ閑口音ニ用ヒぬえハ合口音ニ用

フベキコト、ゾ思フサテ此格ヲ以テ計レバをハ閑かハ合ナルベキニをハ共ニ
 合口音ニ屬シテ遠越弘表乎等モ又於穩飲等モ共ニ皆合轉ノ字
 ニレテ差別アルヲナレ返テあノ音ニ用ル憶意等ノ字閑音ニ然レバを
 かハ閑合ニ依ラズ別ニ所由アリテ分タリト見ユ以今按此說甚善レモコ
 トニ畢竟ハ閑合ニテ分ルヲシ然レモ未其然ル所以ノ本ヲ明ラメ得サル
 故ニ此說モナホ盡サバトコロ多ク且あをノ所屬ノ錯レルヲ悟ラサル
 ユエニ此ニ至テ亦窮セリ既ニいぬえハ閑合ニテ分レタルニあをノミ其
 格ヲ離レテ別ニ所由アルベキ理ナキモノヲヤ又此三對ハ畢竟ハ閑合ノ
 音ニテ分ルコトニアレバヒタスラニ韻鏡ノ閑轉合轉ニ從ヒテハナホ違

フフ多シ是ニ八種々ノ子細アルコト委ク次ニ論スルカ如シ○或説ニ云
 本邦ノ古ノ言語ノ音ニハいぬをふえゑ等差別アリテ必混スミレキ道
 理モアルベケレド字音ニハ假名ノ沙汰無用タルベレイカニトナレバ本ヨリ諸
 ノ韻書ニわや日三行ノ差別トテハカツテ無コトナレバ彼ト此トアヒカ
 ナズベキ理モナク又所詮其假名ハイカヤウニ書テモ若シカラヌコトナレバト
 カク論スルハ無益ノコトニ以今辨レテ云抑古御國言ノ音ニ漢字ノ
 立音ヲ借テ書ル是ヲ假字ト云古事記日本紀等ニ歌サテ其言ノ音
 古ハいぬえゑふをノ差別アリシ故ニ彼借用タル漢字ニモ此差別アリテ
いぬえゑふをナドハ本ヨリ分レタル御國ノ音ニテ假字ハ其音ニテ定メタルモノニ然ルヲ後世人ノ心ニハ假字ニヨリテ分レタルモノト思ヘルハヒカコトニ

一ツモ混雜セルコトナク甚嚴密ニシテ天曆以往ノ古書ハイツレモ符ヲ
 合セタルガ如シ是ヲ以テ觀レバソノカミ必ヨルトコロアリテ定メシコト疑ナレ
 然レバ今トテモ一往考テ韻書ニ無キコト云テ是ヲ廢スヘキニ非ズ
 又古既ニ假字ニ用タル字差別アリテ一モ混セザリシウヘハ凡テノ
 字音ニ附ベキ假字モ又後俗ニマカセテ濫ニスベキニアラズカリニ
 モ古ヲ思ハン人ハ必ワキマヘ正スベキワザシナホイハバ假字ハ即其字
 ノ音註及切ノ如クナル物ナレバ慎スハアルベカラズ假令あつノ假字
 ヲ施スベキ字ニ誤テをノノ假字ヲ施ストキハ安アヒカ闇等ヲをんトシ
 惡握等ヲをくトスルモ同ジコトニカクテモ或人ハナホ一可ニトセシカ

御國ノ音

○御國ニ傳ハルトコロノ漢吳音ハ共ニ古、マノアタリ彼國人ノ口ニ呼、
聲ヲ聞テソレヲ此方ノ音ニ協アテテ定メレモノナレバ 此事委クハ喉音

二行ノ假字モ彼人ノ呼フ聲ニツキテ分チレモノシ但シ彼國ニハモト

ヨリ此三行ノ差別ヲ立ザレ其呼フ人ハミツカラ是ヲオボエズトイヘ

此方ノ人ノ聞クトコロニ其差別ハアリレシ タトヘバ御國言ノ音ニハ平上去

ナルヲ平声イカナルヲ上去声凡ミツカラ覺ユルヲナケレ凡着漢人コレヲ聞バカ

然レバ古ノ假字ハ全ク韻書ニ依ルヲナク又其三行ノ異ハ韻書ノ謂

サルトコロナレバ本彼真ノ口聲ニヨリテ定メタルモノナレバオノツカテ是

唐以前ノ一家韻書ノ如キコトアリ 是故ニ今返テ御國ノ假字ワカヒ

ラ正スベキモノアリ 故ニ今諸ノ韻書ト照シ檢ルニ一往ハ合カタキニ似

タレレヨク是ヲ考ルニ関合ヲ以分ツトキハ悉ク符合スルモノシ 但シ宋末

書ニハ誤多キユニ 合ハザルコトオホシ ソモク古ノ假字ハサラニ関合ヲ以テ分タルモノニハ非レ

自然ト関合ニテ分ル、理アリニツ、関口音ハオノツカラ輕ク合口音ハオノツ

カラ重シ 此輕重ハ韻書ニ云トコロノ者ニ非ズ御國ノ音ノ輕重ヲ以テ云シ音韻

字、其声駢、而、渾、故、為、之、合、也、ト云ル此、 日月燈ニ関轉所屬字其声單而朗故為之関也合轉所屬

言御國ノ音ノ輕重ニヨクアタレリ 故ニ御國ノ輕キ音ノ假字ニ

用タルハ皆関口音ノ字、重キ音ノ假字ニ用タルハミナ合口音ノ字ナリ

サレハ今モ此格ヲ以テ御國ノ音ノ輕重ト字音ノ関合トヲ引合

テ諸ノ字音ノ假字ヲ定ムシ其御國ノ音ノ輕重ハ上ニ出セル輕

重等第圖ヲ以テ考ヘ知ベク ナホ下ニ 字音ノ閑合ハ韻鏡ニ依テ

定ムベシ 韻書多シトイヘ此書ハ唐末ニイデキタルベシト或人ノ云ルマコトニサモアルベシ然レバ此方ニ

古假字ヲ定メシ時ヨリハ後ノ書ナレバイサカモ古ノ音韻ヲ誤レルヲナケレバ全クヨリドコロトスルニ足レリ 但シ此書今ノ諸本閑合

異同アリテ一定セズ故ニ今是ヲ考定ムルコト如ク 第一轉合ニ 第一轉合ニ 一本ニ閑トスルハ非ニ

二轉合ニ 一本ニ閑トスルハ非ニ 第四轉合ニ 閑合トスル本ハ非ニ 第八轉合ニ 一本ニ閑トスルハ非ニ 第十一

轉合ニ 一本ニ閑トスルハ非ニ 第十二轉合ニ 一本ニ閑トスルハ非ニ 第十三轉合ニ 一本ニ閑トスルハ非ニ 第十四轉合ニ 一本ニ閑トスルハ非ニ 第十五轉合ニ 一本ニ閑トスルハ非ニ

第十六轉合ニ 一本ニ閑トスルハ非ニ 第十七轉合ニ 一本ニ閑トスルハ非ニ 第十八轉合ニ 一本ニ閑トスルハ非ニ 第十九轉合ニ 一本ニ閑トスルハ非ニ 第二十轉合ニ 一本ニ閑トスルハ非ニ

第二十一轉合ニ 一本ニ閑トスルハ非ニ 第二十二轉合ニ 一本ニ閑トスルハ非ニ 第二十三轉合ニ 一本ニ閑トスルハ非ニ 第二十四轉合ニ 一本ニ閑トスルハ非ニ 第二十五轉合ニ 一本ニ閑トスルハ非ニ

第二十六轉合ニ 一本ニ閑トスルハ非ニ 第二十七轉合ニ 一本ニ閑トスルハ非ニ 第二十八轉合ニ 一本ニ閑トスルハ非ニ 第二十九轉合ニ 一本ニ閑トスルハ非ニ 第三十轉合ニ 一本ニ閑トスルハ非ニ

隋陸法言カ切韻序ニ古今声調

既自有別諸家取捨亦復不同吳楚則時傷輕淺燕趙則多涉重濁ト云ルガ如ク大抵北方ノ音ハ重シ然レテ漢土後世ハ北人多ク入り雜レル故ニソレニウツリテ凡テノ人ノ音声次第ニ重濁ニナレルニヨリテ右ノ閑口音ノイウトナク合口音ニ變ジタルカ多キヲ後世ノ韻書ハタゞ當時ノ音ニヨリテ定タルモノナル故ニ閑合モナモ右ノ音韻トカヘルヲ多シ然ルヲ世ノ韻學者者此義ヲワキマヘズタゞ其呼法ヲ論ジタルノ精密ナルニヨヒテ是ヲ信ジ其書ヲ證トシテミダリニ韻鏡ノ閑合ヲ改メタルハ返リテヒカコトナリナリ サテ又心得ベキコトアリ

漢音ト吳音トニテ閑合ノカハルヲアルヲ 有右由久丘流等ノ字漢音

くるハ合音 韻鏡等ハタゞ漢音ヲ以テ定メタルモノニシテ吳音ニハカナルガコトシ 韻鏡等ハタゞ漢音ヲ以テ定メタルモノニシテ吳音ニハカ

カハラス然ルニ御國ニハ漢吳ヲ並べ用ラル中ニ古ノ假字ハ多クハ吳音ヲ用タル故ニ漢吳ノ異ニテ韻鏡ノ閑合ト合ザルヲモマアルニ是ハ一其字ノ下 又實ハ拗音ナルヲ直音ニ轉ジタニテ閑合ノ變ル

ニコトワルベシ

コトモ又多シ此事ハ下ニ委ク辨ス如此種々ノ子細アル故ニ多バ韻鏡ノウハカリ

ニテモ濟スミカタシ

故ニ今是ヲ圖

ニアラハシテ詳ニ

字音ノ閑合ヲ

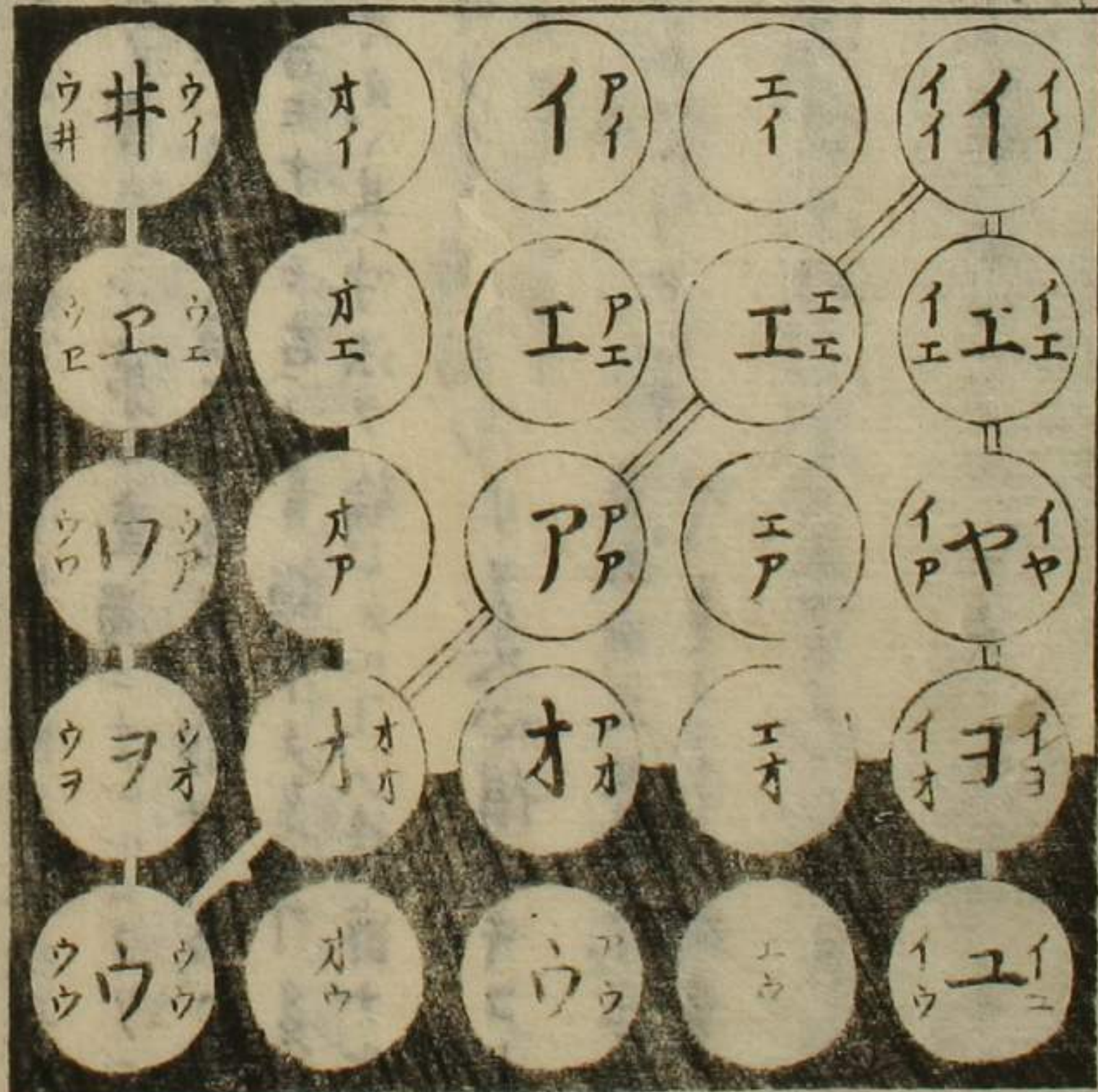
決ス○御國ノ

音ノ輕重ノ位

ニ任セテ閑ト合

ト等分ニスレバ

字音閑合指掌圖



閑

合

正シク此圖ノ如クニナルシ上ノ輕重等第圖ト考合スベシ

○右圖中白位ニアルモノ是閑音、黒位ニアルモノ是合音、白黒ノ交際ニア
 ルモノハ閑合ニ涉ル音シ○凡テ二十五音等分シテ閑音九ツ、合音九ツ、閑合
 音七ツシ○あ行ノいえトヤ行ノいえト同字ナルハ共ニ閑音、あ行ノうトウ行
 ノうト同字ナルモ共ニ合音ナル故ナリ是ニテモ假字ハ閑合ニテ分ツベキヲ知
 ベシ○いぬえあかをノ三對ノ中ニイトぬトハ第一行ト第五行トニ在テ中ニ
 三行ヲヘダテイトぬトハ第二行ト第五行トニ在テ中ニ二行ヲヘダテ、共ニ
 其位相遠キ故ニ此ニ對ハ分レヤスレトトハ第四行ト第五行トニナラ
 ビ在テ其音相近クソノウハおも全閑ニ非ス、閑合ニ涉ルユエニ此ニ對殊ニマ
 ギレ易キ所由右ノ
 圖ニテ明ラケシ

右ノ圖ト韻鏡ノ閑合トヲ引合セテ字音ノ假字ヲ定ムベシ其中ニ合ナルモノアルハ上ニ云ル

子細トモアル故ニサテ此圖ハタハ喉音ノミヲ著ハストイヘモ餘ノ牙齒舌唇半舌

齒諸音モ皆此例ニ從フコトきやーや寺ハイヤニ同クきよまよまよ寺ハイハハニ同シク
きよーゆ寺ハイウニ同クくぬぬの寺ハうぬニ同シク

會三第

音 (ウ) 拗				
合	合	合	合	合
ヲ	エ	ウ	井	ワ
(ウ)	(エ)	(ウ)	(井)	(ワ)
クヲ クワ クヱ クヰ クヱ クヰ クヱ クヰ	クエ クヰ クヱ クヰ クヱ クヰ クヱ クヰ	(クウ)	ク井 クヰ クヱ クヰ クヱ クヰ クヱ クヰ	クワ クヰ クヱ クヰ クヱ クヰ クヱ クヰ
スヲ スワ スヱ スヰ スヱ スヰ スヱ スヰ	スエ スヰ スヱ スヰ スヱ スヰ スヱ スヰ	(スウ)	ス井 スヰ スヱ スヰ スヱ スヰ スヱ スヰ	スワ スヰ スヱ スヰ スヱ スヰ スヱ スヰ
ツヲ ツワ ツヱ ツヰ ツヱ ツヰ ツヱ ツヰ	ツエ ツヰ ツヱ ツヰ ツヱ ツヰ ツヱ ツヰ	(ツウ)	ツ井 ツヰ ツヱ ツヰ ツヱ ツヰ ツヱ ツヰ	ツワ ツヰ ツヱ ツヰ ツヱ ツヰ ツヱ ツヰ
ヌヲ ヌワ ヌヱ ヌヰ ヌヱ ヌヰ ヌヱ ヌヰ	ヌエ ヌヰ ヌヱ ヌヰ ヌヱ ヌヰ ヌヱ ヌヰ	(ヌウ)	ヌ井 ヌヰ ヌヱ ヌヰ ヌヱ ヌヰ ヌヱ ヌヰ	ヌワ ヌヰ ヌヱ ヌヰ ヌヱ ヌヰ ヌヱ ヌヰ
フヲ フワ フヱ フヰ フヱ フヰ フヱ フヰ	フエ フヰ フヱ フヰ フヱ フヰ フヱ フヰ	(フウ)	フ井 フヰ フヱ フヰ フヱ フヰ フヱ フヰ	フワ フヰ フヱ フヰ フヱ フヰ フヱ フヰ
ムヲ ムワ ムヱ ムヰ ムヱ ムヰ ムヱ ムヰ	ムエ ムヰ ムヱ ムヰ ムヱ ムヰ ムヱ ムヰ	(ムウ)	ム井 ムヰ ムヱ ムヰ ムヱ ムヰ ムヱ ムヰ	ムワ ムヰ ムヱ ムヰ ムヱ ムヰ ムヱ ムヰ
(ヲ)	(エ)	(ウ)	(井)	(ワ)
ルヲ ルワ ルヱ ルヰ ルヱ ルヰ ルヱ ルヰ	ルエ ルヰ ルヱ ルヰ ルヱ ルヰ ルヱ ルヰ	(ルウ)	ル井 ルヰ ルヱ ルヰ ルヱ ルヰ ルヱ ルヰ	ルワ ルヰ ルヱ ルヰ ルヱ ルヰ ルヱ ルヰ
ウヲ ウワ ウヱ ウヰ ウヱ ウヰ ウヱ ウヰ	ウエ ウヰ ウヱ ウヰ ウヱ ウヰ ウヱ ウヰ	(ウウ)	ウ井 ウヰ ウヱ ウヰ ウヱ ウヰ ウヱ ウヰ	ウワ ウヰ ウヱ ウヰ ウヱ ウヰ ウヱ ウヰ

長之音直

二十

難如

難如

會二第

音 (イ) 拗				
合 開	開	合	開	開
ヨ	エ	ユ	イ	ヤ
(ヨ)	(エ)	(ユ)	(イ)	(ヤ)
キヨ キョ キエ キヰ キヱ キヰ キヱ キヰ	(キエ)	キユ キョ キヱ キヰ キヱ キヰ キヱ キヰ	(キイ)	キヤ キョ キヱ キヰ キヱ キヰ キヱ キヰ
シヨ ショ シエ シヰ シヱ シヰ シヱ シヰ	(シエ)	シユ ショ シヱ シヰ シヱ シヰ シヱ シヰ	(シイ)	シヤ ショ シヱ シヰ シヱ シヰ シヱ シヰ
チヨ チョ チエ チヰ チヱ チヰ チヱ チヰ	(チエ)	チユ チョ チヱ チヰ チヱ チヰ チヱ チヰ	(チイ)	チヤ チョ チヱ チヰ チヱ チヰ チヱ チヰ
ニヨ ニョ ニエ ニヰ ニヱ ニヰ ニヱ ニヰ	(ニエ)	ニユ ニョ ニヱ ニヰ ニヱ ニヰ ニヱ ニヰ	(ニイ)	ニヤ ニョ ニヱ ニヰ ニヱ ニヰ ニヱ ニヰ
ヒヨ ヒョ ヒエ ヒヰ ヒヱ ヒヰ ヒヱ ヒヰ	(ヒエ)	ヒユ ヒョ ヒヱ ヒヰ ヒヱ ヒヰ ヒヱ ヒヰ	(ヒイ)	ヒヤ ヒョ ヒヱ ヒヰ ヒヱ ヒヰ ヒヱ ヒヰ
ミヨ ミョ ミエ ミヰ ミヱ ミヰ ミヱ ミヰ	(ミエ)	ミユ ミョ ミヱ ミヰ ミヱ ミヰ ミヱ ミヰ	(ミイ)	ミヤ ミョ ミヱ ミヰ ミヱ ミヰ ミヱ ミヰ
イヨ イョ イエ イヰ イヱ イヰ イヱ イヰ	(イエ)	イユ イョ イヱ イヰ イヱ イヰ イヱ イヰ	(イイ)	イヤ イョ イヱ イヰ イヱ イヰ イヱ イヰ
リヨ リョ リエ リヰ リエ リヰ リエ リヰ	(リエ)	リユ リョ リエ リヰ リエ リヰ リエ リヰ	(リイ)	リヤ リョ リエ リヰ リエ リヰ リエ リヰ
(井ヨ)	(井エ)	(井ユ)	(井イ)	(井ヤ)

音直于混

長之音直

難如

難如

右三會圖上ノ三行分生圖及ニ相合指掌圖ト相照シテ考ベレサテ第
二會ノ上ニ[㊦]第三會ノ上ニ[㊧]ト標スルハヤイゆえヨニ属スル諸拗音ハ各
上ニ[㊨]キ[㊩]チ[㊪]フ[㊫]ヒ[㊬]ミ[㊭]イ[㊮]ノ音ヲ帶テ是皆イニ属スル音。この[㊯]を[㊰]ニ属
スル諸ノ拗音ハ各上ニ^㊱ク^㊲モ^㊳ツ^㊴フ^㊵ニ属スル音。この^㊶を^㊷ニ属
ナレバナリサテ第一會ハ直音ナレバ此例ニ非ストイハ上ノ分生圖ト
別合セテ考ルニ便リアラシメニ爲シ是レモレハラクアト標セリ

右三會ノ字音都テ九十六

^㊲圖中ナル者ヲ除ク

又各音ノ左右ニ細書スル者モ皆コレ

字音ニレテ

ハト書ルハ入声ノ音ニタトハ第一會ノ音ノ下ナルハあくあつあふ等
ノ音ノ下ナルハえきえう等ナリ。第二第三會モ是ニ准テ心得ベシ

天下ノ漢吳音ヲ括盡セリ○第一會ノ諸音ハあいうえおニ属シテ

皆直音ニサテ其中ニ不雅ナル者ハ通音ニ轉ジ呼例ニ不ハ甫鳩反婦

房久反ニテ共ニ漢音ハ^㊲ハナラフト呼ヒ問ハ亡運反吳音^㊲ハナラフ

んと呼ヒ^㊲奴困反吳音のんナルヲ^㊲んと呼ヒ腹ハ弗鞠反^㊲くナルヲ

ふくと呼フ此類ナホ多シコレヲ反切ニカナバズトテ訛シト思ス返テ右ヲ知

サル者ゾ凡テ鄙俚ナル音ハ嫌ヒテ故ニ^㊲轉ジテ定メシモノシ但シ相合ヲ分ツ

ニハ凡テ轉ジタル音ニハヨラス反切ヲ考テ本音ニヨルレ右ノ不婦等字ノ如キ

モ不ハ合音ナレ本音^㊲ハ開ナルユエニ韻鏡開轉ニ收セリ第二第三會

拗音モ是ニ准テ心得ベシ○第二會ノ諸音ハヤイゆえよニ属シテミナ拗

音ニ凡テ拗音ハモト御國ノ音ニ非ズレテ多ク久不雅ナルガ故ニ

^㊲異國ニテハ雅トスルモ御國

ニテハ不雅ニ故ニ古言

直音ニ轉ジ呼フ者多シ第二會ノ中ノ音ニテ其例ヲ

少クイハ^㊲俱字ハ舉朱反ニテきもナルヲくと呼ヒ^㊲纒ハカ主反^㊲もナルヲ

呼フ韻鏡第十二轉第三等ノ諸字ミナ此例ニ又第一轉ノ風字ハ^㊲方戒反

びゆノナルヲあうト呼ビ豊モ芳馮又敷弓反びゆノナルヲやうト呼ブ又
 允尹ハ共ニ余準反いゆんナルヲゆんト呼ビ 之允反准。食尹反盾。思尹反
 ナルヲイヨ 倫ハカ連又カ遵反アもんナルヲまんト呼ビ律ハ呂邱又カ出反
 イヨ明ケシ 了のナルヲらうト呼ビ聿ハ以出反いゆハナルヲいつト呼フ第十八轉第
 三四等皆此例シ 其中ニ古音齒音 又第二轉ノ僕ハ房玉反漢音びり
 ナルヲ不くと呼ビ第一轉ノ宿ハ思六又息逐反ナルニえゆくノ音ナレバ
 トスルハ返 六ハ實ハアもく返ハちめくシ叔モ式竹反ニテもゆくナレバ竹モ実
 テ誤ナリ 六ハ實ハアもく返ハちめくシ叔モ式竹反ニテもゆくナレバ竹モ実
 ハラめくシサテ去月ハ余六反いゆく菊ハ居六反きゆく福ハ方六反びゆく
 目ハ莫六反びゆくシ此類ナホ多シ餘モ右ノ字トモニ准ヘテイヅレモ其韻字ト

反切ノ下字 歸納ノ音トヲ相照レテ本拗音ナルヲ直音ニ轉ジタルヲ悟ル
 フ韻字ト云 行字漢加ノ具ギヤノノ類シ又常ニハ拗音ノマニ呼フ字ヲ歌書ニテ直音ニ
 ベシ又漢音ト呉音トニテ拗直ノ轉換スルヲ多シ香字漢きヤノ呉加ノ
 云ル者多シ精進ヲさうト脚病ヲかくむヤノ病者ヲむヤノ修行者ヲさ
 んぎヤノ受領ヲぶらう宿世ヲさくせ従者ヲむら大呪ヲたいむ大乗ヲ
 ぶいぞう 祇養ヲあざう 論スルヲぶとスルト云々グヒシ ○或向云ク上ノ三行分
 べハ師い。よハ師いハナレバ上ニ又イラ加テいやいゆいよトハ書ベカラズ音シイラ加ハハ
 あい。いハトコソ書ベキニ第二會圖ニいやいゆいよトアルハイカハ答云コトニ然リ故
 ニいやいゆいよノ音ハイヅレモイラ省キテ々々やゆよトノミモ書シ但シ此類音イヅレモミヤ
 ちヤ等ト書テきあちヤ等トハカハスキもあちヤ等ト書テきうちヤ等トハ書ズスキよ
 ちヤ等トカキテきあちヤ等トハカハガ例ニヨルニ喚音モいやいゆ
 いよト書ガレコトアハズ目ゆるをノ拗音モ是ニ准ヘテサトルベシ ○第三會圖ノ

鳥禾反ニテうとん半舌齒音ノ羸ハ落戈反ニテるとしサテ其上声去声モ同
 シ格ニテ跛ハ布火反ニテふとし麼ハ亡果反ニテぶとし坐ハ祖果又疾臥
 反ニテまとし播ハ補過反破ハ普過反ニテ共ふとし座ハ祖臥反ニテまとし
 又第卅轉ノ諸字モ此例ニサテ第卅二轉ハ光荒黃ナドノ例ニテ其横ノ傍ハ步
 先反ニテふとし汪ハ鳥光反ニテうとし又第十四轉ノ杯ハ布回反ニテ
 ふとし頽ハ杜回反ニテたとし崔ハ才回反摧ハ在回反罪ハ祚隗反ニテミナ
 まとしナリ雷ハカ回反ニテろとし
故ニ胡雷反 限ハ鳥恢反ニテうとし其
迴トナレリ 餘字モ准へ知べシ第十六轉モ此例ニ又第廿四轉ノ盤ハ薄官反ニテふとし人
 端ハ多官又都丸反ニテはとしん暖ハ乃管反ニテ具音ぬとしん酸ハ素官反

ニテまとしん挽ハ鳥管反ニテうとしん卵ハ盧管反ニテろとしんナリ又潑ハ普
 活反ニテふとし奪ハ徒活反ニテはとし撮ハ倉括反ニテまとしん持ハ郎活
 反ニテろとしナリ第卅六轉ノ赅ハ查獲反撼ハ砂獲反ニテ共ニまとしんナ
以上ハわ 次ニ第五轉睡維吹垂髓睡羸等ノ例ニテ跛ハ彼為反彼ハ
行ノ音 補糜反ニテふとし鳩ハ居為反規ハ居階反偽ハ危睡反ニテ共ニくわとしサテ
 是爲反垂旬爲反ハ隨力爲反ハ羸息委反ハ髓力委反ハ累ナレバ爲委ハ
 共ニうわとし第七轉第十轉モ此例ニサテくわとしまわとしはわとしぬわとしふわ
 くわとしるわとしらわとし音ハ本音ノハニ呼フ字一ツモ無レハ考スキ由ナレ
 トイヘル者ハ第一轉ノむゆとしらゆとし等ノ音本コレニ近キカうぬんくわん

等モ考ヘガタシ是ハ第十八轉ノちんきんをんいんアゆん等ノ音
 近キカサテノぬくくぬく等ハ是又第一轉ノむゆくちゆくきゆくんゆ
 くいゆくアゆく等近クくぬりくぬり等ハ是又第十八轉ノちんつこ
 つふゆいゆりアゆり等近キ欵猶考ベシ以上ぬ行ノ音ナリ 次ニ第廿轉花華化
 等ノ字ノ吳音ヲくゑト云ル例アル如ク此轉ノ吳音ハ凡テはゑくゑくゑくゑ
 名ナリ第十四第十六轉ノ吳音モ同ジサテノゑくゑくゑくゑ等ハ考ヘガタシト
 云ハ第廿四第廿六轉ノ第三等四等ノ吳音コレナレシクゑいゑいゑいゑハ
 十四轉ノ第三等第四等ノ諸字コレシクゑんくゑん等ハ第廿二
 轉ノ源字元音 第廿四轉ノ養字ヲくゑん一云ル例ニテ此二轉ノ第三等四

等ノ諸字コレナリ又其ハ聲所ハちんはんつゑんつゑんつゑん
 つゑんつゑんナリ以上ぬ行ノ音ナリ 次ニ第十二轉ノ第一等ノ諸字ハをじをへをくを
 ををををををノ音ニサテ第四十三轉ノ泓ハくゑんハくゑんハくゑんハ
 第十八轉ノ第一等ト第廿二轉ノ第三等ノ吳音トコレクゑんくゑん等
 ナリ但レオハ二轉牙音ノ吳音ハ皆クゑんト轉ジ呼ヲナレ元ハ愚ウツ 及
 願ハ魚怨ウツ 及ナルヲ以テ元願ナトモ本音ハくゑんナルコトヲ知ルベシ くゑんつゑん
 等ハ第十八轉ノ第一等入 第廿二轉ノ第三等ハノ吳音ト是ナリコレモオハ二
 轉ノ牙音
ハをををト轉ジ呼ハ越ノ吳音ノををナルヲ以テ実ハををナルコトヲサトルベキナリ くゑんくゑん等ハ第四十三轉ノ
 第一等入 是ナリ以上ぬ行ノ音ナリ 右ぬ行を行ニ属スル諸ノ拗音ハ本音ノハニ味
 モノ無レバ是ヲ證スベキ由ナキニ似タレ既ニぬ行ぬ行ノ諸音ノ例アレハソレニ

准ジテ此二行ノ諸音モ必ズ實ハ右ノ如クナルベキ理疑ナシサテ上件諸ノ拗音
多クハ直音ニ轉ジ呼フ故ニカノ開合圖ト韻鏡ノ開合ト合ザル者多キガ
如クナレド右ノ如ク本音ニ返シテコレヲ考ルトキハ一ツモ合ザル者無シ

凡例

○假字ツカヒ片假字ノイハ平假字ノイナリ。井ハぬナリ。エハえハナリ。
エハゑナリ。オハおハナリ。ヲハをハナリ。是ハ童蒙ノタメニ云
○各音ノ下ニ圍中ニ書スルハ其下ニ舉ル諸字ノ韻ニ但シ平声ノ韻ヲ
標ノ上声去声ノ字ヲモ其下ニ攝ス音韻ヲ論スル處モ同じ是レ四
声ノ差別ハ假字ツカヒニ用ナキ故ナリ

○假字ノマギルハコト無キ音ノ字ハ舉ルコトナレ又マギルハモ悉クハ舉ルカ
タケバタゞ日用ノ近キ字ノミヲ出ス餘ハ反韻ノ例ヲ以テモ推テ知
ベク又大氏ハ同傍オカレツタリナドノ列ニテモ違ハズ給怡イイ怡イイ同ジク惟推イイ唯イイ同ジキ
ガゴトシ

○漢ト云ハ漢音吳ト云ハ吳音ナリ

○清音濁音ハ一ツニ雜ヘテ舉ルノ假字ニマギレナケバシ假字ノマギルハ
濁音ノ字ハ別ニ卷末ニ出セリ

○音ヲ論ズルニ漢土ノ韻書ヲ引ズレテ毎ツ御國ノ古書ヲノミ引テ是ヲ
證スルユエハ此書ハモトヨリ音ヲ辨ズル書ニ非ズタゞ其假字ヲ辨ズル

書ナルカ假字ハ全ク御國ノ古書ニ據ヨラズハアルベカラザルガ故シ

○いぬ之假字

い 伊以異怡易已移夷肄 以上九字古書ニ
いノ假字ニ用タリ 貽 飴 詒 倚

猗 姨 頤 圮 彝 醫 矣 意 懿 以上廿二字
漢吳共ニイ 衣 依 辰 以上三字
吳ハニ

○右ノ字皆関口音ニテ韻鏡関轉ニ属ス

ぬ 爲 韋 位 威 謂 渭 偉 委 萎 尉 以上十字古書ニ
ぬノ假字ニ用タリ 惟 維 唯

帷 遺 透 恚 洧 銷 違 圍 圍 慰 畏 胃 彙 緯 葦

○右ノ字皆合口音ニテ韻鏡合轉ニ属ス 一本ニ惟字ヲ第六関
轉ニ載タルハ非ナリ

いゝ 尤 尤 郵 幽 憂 優 由 油 抽 游 遊 猶 猷 攸 悠 酉

貞 誘 有 宥 囿 又 友 右 祐 皆漢ナリ吳ハい或ハい少シ。幼字モ
いゝノ音ナルベケレドモ常ニえゝト呼フ

○右開音ニテ開轉ニ屬ス

いゆ

ゆ同

東雄熊融彤

以上漢之呉ハいゆカウナズシ
雄ハ常ニ呉をト呼フナリ

鍾用勇邕

以上呉之
漢ハいゆ

遇裕

此字ハいゆノ音ナレドモ
常ニいゆト引テ呼

○右合音ニテ合轉ニ屬ス但レいゆいよノ音ハ開合ニカハラス皆ハ

假字ナル例ニ

上ノ圖ニ
テ考ベシ

○此音ハヲ省テゆト書ベシゆハ即いゆナレバシ

いゆ

ゆ同

尤由油抽游遊猶猷攸悠酉誘

以上呉之
漢ハいゆ

虞愈逾喻瘡庾史裕

○右合音之虞韻ノ者合轉ニ屬ス尤韻ノ者開轉ニ屬スハ漢之音ニ

ヨルガ故ニ○此音ノ中ニ尤韻ノ者ハいゆゆト引テ書モアレカラス虞韻

ノ者ハ引ベカラスサレド常ニ引テ呼フ字モアリ

い

ハ

緝邑挹揖楫

○右開音ニテ開轉ニ屬スリ

○日本紀ニ出雲ノ言屋社トアレノ三代実録ニ揖屋神延喜式ニ揖

夜神社トカキ又和名抄ニ播磨郡名揖保伊比保薩摩郡名揖宿

以夫須岐遠江郷名邑代伊比之呂ナトアル皆ハノ假字ヨクカナヘリ

○九テ入声ノ韻ニハノヲ書スレテハノヲ書例ニ其證ハ右ノ揖夜志摩

郡名万葉ニ手節トアルヲ答志トカキ近江郡名甲賀ヲ天武紀ニ鹿

深トカレ備後郡名甲奴加不乃讚岐郷名入野尔布乃也ト見エ

杏葉行衣布半挿ヲ波迹佐布ト和名抄ニ見エタリ其外ニ相模ノ

以上三字漢

侵 音飲 陰 漢 以上四字漢 淫 姪 ○右関音同轉

○和名抄ニ因幡以奈ハ右事記ナドニ遠江郡名引佐伊奈佐ト見ニ古

事記ニ印惠崇神天皇御名トアルヲ日本紀ニ五十瓊殖トカキ播磨郡名印

南伊奈美五葉ナドニトアルコレラ稲日作書イノ假字ヨクカナヘリ

おひ 諱 尹 允 勻 筠 眞 韻 殞 隕 仙 員 院

○尹允勻筠四字ハ實ハいゆびノ音ナルヲ直音ニ轉ジタル者ニ上ノ國談ニ云ルが如シ

サテ轉ジタル直音ノ假字ハ他ノ例ニヨレバいひナレハ是ハ始クおひト定ム

其故ハ元日宴會儀式ニ大臣宣侍座ト云コトアリ是ヲ北山抄之支

尹トカレ江次第ニモ敷尹トカレタル尹ハ借是ぬんノ假字ニテ合リ韻

鏡ニモ合轉ニ屬セリ韻殞隕モ疑ヒアレハ始クぬんと定ムサテ員ハ圓ト

同音ニテ王權反又胡拳反イツレニテモぬんノ音ニ又乎軍反ニテん漢

ん吳ノ音ハアリ伍子胥ガ名ノトキ音運ナリ然レハぬんノ音ハ諸韻書

ニ見エス但シ韻鏡第二十轉ノ諸字訓ハ許運反ナレキん呼佛ハ符

弗反ナレハ音彌トモ見エテむつト呼フ例アリ人名佛文ニ民眠ノ音アリ

又云雲ナドヲ天台宗ナドニ昔ヨリ漢音ノトキハぬんとヨム右イヅモ第三

例ニコレヲ思フニ第二十轉ハ第十八轉ノ如ク實ハぬん右イヅモ第三

等ノ音ナルヲ直音ニ轉ジテぬん直音ナラバいんナルハケレハ是又第

等ト定メ又ふんんん十八轉ノ勻尹ナドノ例ニテぬんとス

通ヒテぬんノ音モアル運字モオ韻字ヲモ音運トモアルコレモノトぬ

んと通ス例ニサテ假字ハハニ非ズぬ和名抄ニ伊勢郡名員辨ハ為奈倍

トアリサテ院ハ王眷及瑗ト同音ニテぬんナリ又胡官反々漢ん

ノ音ハアレぬんノ音ハ見エズ同韻ノ諸字ニモ第二テ音ノ例ナシ猶考スベシ

ぬんノ音トスルニ付テ假字ハぬナルヲ疑ヒナレ

いく 屋 育 豆 郁 或 澳 煥 右諸字実ハ拗音ニテいゆく

音ナルヲ直音ニ轉ジルモノ上ノ因説ニ皆韻鏡合轉ノ字ナレ假字ハぬ

くカレ云ベテドいゆハ九テいノ假字ナレ直ニ轉ジテモ同ジ故ニ和名抄ニ

淡路郷名育波以久波トアリ是ハナル證ナリ

いつ 質 乙 一 壹 逸 佚 溢 侑 迄 乙

於乙反漢ナリ呉ハいつ。質見 右開音ニテ開轉ニ屬ス○壹岐ヲ右事記ニ伊伎ニ作り和名抄伊

勢郡名壹志伊知之トアル假字ヨクアリ

ぬつ 術 聿 鷓 此二字以出反ニテ本音ハいゆリニ第十八合轉ニ屬ス

同轉ノ勾尹等ノ例ニ任セテぬノ假字ニス○九テ入聲此ノ韻ヲ具音ニテハ

ちト味コト多シ一日ナドノ如シ越前越後ノ越ナドハ漢音ナレト味リ

イツモ假字ハ此ニ准ヘテ知ベン

ぬき 職 域 域 闕 漁 右合音ニテ合轉ニ屬ス○漁ハ曉母ニ屬セ

レバぬきをノ音ノ例ナキニ似タレ味呼字モカ葉ニをノ假字ニ用ヒ賄モ

見ト呼クコレモ 曉母ナレバ 漁モぬきノ音疑フベキニアラス

い

いやく

いよ

いよく

是ラノ音ハ 開合ニカハラズルテハ

ノ假字ニ ハカラス 又イラ省テ ややく よよく トモ書ベシ

○え 急之假字

え

哀埃 愛

以上三字 吳ナリ 漢ハあい

衣 依

此二字モ 吳ニ 漢ハいナリ

延要 曳 叡

以上九字 古書ニえ

ノ假字ニ用タリ

三合轉 第十 六

○右ノ字皆 開音ニテ 韻鏡 開轉ニ属ス 然ルニ タノ 叡 一字ノ用タル諸字 悉ク 此格ニ合ルニ 此一字ノ三違フベキニ 非ズ 因テ 思フニ 同轉ノ

蛙 字モ 吳音 わナルベキニ 常ニ あト呼ク 此例ニヨラバ 叡モ 吳音ハ えい 欽

イカニモアレヌノ 假字ニ用タルト 必所以アルベシ ○哀埃 愛ハ あいノ音ナ

ルヲ えノ 假字ニ用ルユエハ 古書ニ 開階ヲ 多代ヲテ 林珮背ヲ 念 朱

賣味ヲ めノ 假字ニ用タルト 同例ニ 礼ヲ 是 帝ヲテニ用ルモ 漢音ヲ 變ニ

又常ニモ 怪解ノ 吳音ハ 多 回淮ナドノ 急ナルモ 此格ニ 又 導ノ 字ノ如キ 五

愛 反ニノ 吳音 げナレバ 愛ニえノ音アルト 疑ヒナシ

急

惠

隈 穢

回 會 繪 淮

衛

以上 四字 吳ナリ 漢ハえい

古書ニ急ノ 假字ニ用タリ

慧

壞 廻

畫

以上 四字 吳ナリ 漢ハえい

烏

以上 四字 吳ナリ 漢ハえい

○右ノ字皆 合音ニテ 韻鏡 合轉ニ属ス

○繪 畫ヲ 急ト云ハ 御國言ノ如クナレド 字音ニ ○烏帽子ノトキ 烏

三字ハ第十六合轉ニアリ然レト敵ヲ古、エノ假字ニ用テ因テえい

ト定ム えノ音、下ニ 又榮以下八字モ第卅四合轉ニアリ 然レト和名抄

ニ薩摩郡名額娃、江トアリ又其入声ノ役字モ必エノ假字ナルベキ

由アリ 役字、 コレヲニヨリテえイト定ム 凡此第卅四轉ノ第三等、第四

ニア永等ノ吳音いや、頃等ノ吳音 等ハ潤音ノ例ナキ所以アル

えい 祭衛 ○合音ニテ合轉ニ屬ス ○古書ニえノ假字ニ用タリ

えむ 先煙咽 宴燕 讌 醺 阮 堰 偃 鹽 鹽 炎 琰 奄 淹

簷 擔 閤 會 厭 厭 壓 豔 艷 仙 延 筵 演 焉 衍 羨 沿

鉛 鳶 捐 娟 緣 掾 究 ○右羨以上北八字開轉ニ屬ス 鹽韻ノ者十四字

第九第四十轉ニアリ此ニ 轉ヲ合トスル本ハ非ナリ ○延ヲ古書ニエノ假字ニ用ヒ和名抄ニ飛沙言

此間音比衣無ト見エタルヨク叶ヘリ又出雲郷名鹽冶神名式ニ

鹽冶神社コレハ風土記ニ夜牟夜ニ作り日本紀ニ止屋淵トアルト

同處ナレバやむやナリ 後世此所ヨリ出タル人ニえんや判官ト呼フアリ訛ニ

又伊勢郡名奄藝阿武義トアルコレヲモ奄鹽ヲあ行ヤ行ノ通

音ニ用タルえノ假字ニテ合リ ○沿以下八字ハ第九二轉合ニレテ表

遠越ナド、同轉ニアルバえむノ假字カノ疑アリ然レト古今六帖

伊世物語等ニウラノのほとぬえあーはとヨメルエハ縁

ヲ江ニ云カケタレバ縁字エノ假字ニ 右ハ假字ノカガヘル 因テ第二十二

轉第四等ニ属スル者ハえむノ假字ト定ム 表遠越ナドハ第三等ニ属セリ凡テ第三等ノ

諸字ハ反切ノ字モ重ク第四等ノ諸字ハ反切ノ字モ皆輕クシテ同轉ナガラ輕重ヒトシカラザレバ第四等ハ若クハ吳音開ニヤアラシ

えむ 元表遠轅猿園爰援媛宛苑怨婉鴛垣

寬 以上漢之 先淵仙瑗媛圓 ○右合音ニテ合轉ニ属ス

えつ 月謁屑噎咽 悅閱 ○右咽以上三字開轉ニ属セリ

悅ハ第卅ニ合轉ニアレバ第四等字エノ假字ナルベキ由えんノ立目ノ下ニ云ルが如シ ○和名抄丹後ノ郷名謁獻コレヲ神名式ニ阿知江トアラレ 謁字あ行ノ通音ニ用フエノ假字ヨクアリ

えつ 月越粵曰鉞 噉噉 ○右合音ニテ合轉ニ属ス

○越曰ハ古書ニ在ノ假字ニ用タリ又和名抄能登郷名越蘇 惠曾トアリ

えき 昔益亦奕易場液腋掖繹驛懌 鞞役疫 ニナ漢之

吳ハ ○右數以上十二字開轉ニ属ス役疫ハ第卅四轉合ニ属スレバ此轉第三四等ハえノ假字ナルキトえハノ音ノ下ニモ云ルが如ク又和名抄ニ疫夜夜美トアル夜ハ即疫ノ字ト音ト聞ユ えぢちト云言モト役字立音ヨリ出タルベシ

○おを之假字 附あり

お 於淤飫意憶億隱礮乙應 以上十字古書ニ ○右意以下

七字ハ開轉ニ属ス於淤飫三字ハ第十一合轉ニ属セリおハ開合ニ涉ル音ナル故ニ或問曰おノ音ノ開合ニワズルハサモアルベシ然レバ其音ノ假

字ニ用タル於等ノ字合轉ニ屬スルトキハ在ノ音ト何ヲ以テ分ニコノ
義イカバ答云抑開合ニ涉ル音トハ前圖ノ如ク開ト合トノ間音
ナリ然ルニ韻鏡ナドハ四十三轉ヲタゞ開ト合トノ二ツニ分テ其中間
ノ音トテハ別ニタテズ 開合轉ト云ハ開音字ト合音字トラニシヘ載ルユエ
ノ目ニ開合ニワタル字ヲ載スト云フニアラサレバ別ナリ
故ニカノ開合ノ間ノ音ノ字ヲモニツニハカテイサ、カニテモ開ノ方ヘ近キヲ開
トレイサ、カニテモ合ノ方ヘ近キハ合トセル者ニサレバ於等ノ字モイサ、カ
合ノ方ニ近シトシテ韻書ニハ合轉ニ收ストイヘ也精ク云トキハ中間ノ
音ナルユエニ在ノ音ノ全合ナルト差別ナキヲアタハズ 上ノ開合圖ニテ
其位ヲ考スベシ
古ニ假字ヲ定ムルトキ於等ノ字彼國人ノ口ニ呼音をニハ遠クシテ

おノ方ニヨレル故ニ其音ノ假字ト定メレ者ニ於等ノ字ハ譬ハ相坂山
ノ如ク近江國ノ合轉ニ屬スレモ東近江ノ在ノ音ハ遠クテ山城ノ開音
ニ近キナリケリ 又或問曰おヲ舊ノ如クわ行トスルトキハ於等ノ字合音ニ
テヨク叶ヘリイカバ答云おヲわ行トスルトキハ於等ノ三字
ノニコソ合轉ニテ叶ヘルニ似タレ古書ニ在ノ假字ニ用タルハ餘字采心ク合轉
ナルヲバイカニセム又同シカノ假字モ右ニアグル意以下七字皆開轉ナルヲイカニセム
又或曰於字字書ヲ考ルニ鳥ト同音ニ然ルニ鳥ハ在ノ假字於ハカ
ノ假字ニ用ルコトイカバ是レヲ以テ見レバ畢竟おを等ノ假字ツカヒ實ハ
差別ナキコト欵答云玉篇ニ於央間反居也又倚乎反歎辭ト
アリ鳥ト同音ナルハ此倚乎反歎辭ノ方 ア、ト讀ムト
コト是ナリ おノ假字ニ
用ルハ央間反ノ方ニテ 漢音いよ
吳音お 別ノ音ニ後世ノ韻書ニスラ此差別

字ニ用タル

ハ見エタリノ混同スベキニ非ズ 又或人ハ是ヲ辨ヘズシテタゞ鳥於同音ト心得ルカテ鳥ヲ漢音オナリト云ルモ非ナリ ○又於テ助

辭ニ乎、字ト同ジヤウニ用ルコトアルニ就テ同音カト疑フ人アレドモ是モ音ハ異ク

速フコトナカレ於ト乎トハ助辭ニ全ク同シサマニ用テ乎、字註ニ於也トアレバ其音ハ

鳥俱及ニテ同ジカラズ於ト乎トノ音ノ異ナルコトモ是ニ准ヘテ知ヘシ後世ノ字書巨ニ

ハ於ト乎トヲ全ク同音トスレドモハ音韻ノミダレタル者ニ唐以前ノ書ニ同音ト

セシモノ無キヲ以テ訛 又古書ニ意字ヲ多クおノ假字ニ用タルハ音憶トモ

アリテ即此字ト通用スル方ヲ取ニト或人ノ云ルコトニサモ聞エタリ然レ

トモ意ハハノ音コソ常ナレ憶ト通用スルコトハイトモ稀ナルコトナレニ其音ヲ

レモ取ムコトイカバ依テ思フニ御國ノ古書ニ凡テ字ノ偏ヲ省テ用タル

例多シ伎ヲ支ニ作り枳ヲ只ニ作り柯ヲ寸ニ作り健ヲ建 作レルタク

ヒナリ 此事猶委ク右然レバ意モ通用ニテモナク右ノ例ニテ憶字、偏ヲ

省ケルモノナルベシ

を

表遠怨鳥乎呼鳴鳩弘越曰惋迴 以上十三字古書ニをノ假字ニ用フ

汗惡 ○右ノ字皆合音ニテ韻鏡合轉ニ屬ス ○表ハ雨元及遠ハ

雲阮及怨於願及ナレ漢人呉ハ云ナルニ似タレ元阮願等ノ呉音

実ハ云んナルコト上ノ圖説ニ云ルカ如クナレ右三字呉音を云んナルコト疑ナレ

鳥ハ 哀都 及漢を呉コト乎ハ戸呉反音胡ニ然レバ漢呉共ニコナルベキ

ヲをニ用タル如何ト云ニ胡字匣母ニ屬スルテ匣母ノ字ハかきくやこの

音ナルガ呉音コトのうをニナル例多シ 皇黄ハ云ル淮ハ云イ又云會ハ云ナルタゲヒ多シ 故ニ戸

胡等ヲ切字ニ用タル字多クハ呉音コトのうをナリ 戸國反惑胡掛反話胡光反黄ノ夕

ガヒ多シ又胡字胡亂胡曹
抄ノトキノ音ニ呼ヘリ
呼ハ荒鳥又火胡及ナレバ直音ナレ是

モ吳音ワ行ニナル例シ
呼荒火ニナ曉母ニ屬ス曉母ハワ行ノ音ノ例ナキ
ニ似タレ上ニ出タル漁字モのきノ音シ又賄ハ呼罪

反ニフノ音ナレバ呼ニをノ
音アルコトイヨク疑ヒナシ
弘胡肱及ナレバ吳をノ越曰ハ王伐及ハ

房越又又于厥反
扶厥反又于厥反月反
ナレバ漢をツ吳ハヨナルベキヲ
曰ハ常ニ

ノ音ニ呼ハ表遠等ノ例シ
越ハ即表遠ノ入声シ又發聲反ハ甫越及ニシテ
吳音不ツ是レ越字吳をノナル證ナリ

曰ヲをノ假字ニ用タルハ姓氏錄ニ譯語氏ヲ曰佐トカキ和名抄ニ筑
前郷名曰佐アリ
今本ニ日佐ニ作レコレシ惋ハ鳥賈反ニテ
第廿四漢

吳共ニコノ音ナレモ又於元及トモアレバ表遠等ト同例シ迴ハ音
回ナレバをニ用ル通音ナカラ疑ハレ但耐苔ヲと乃ヲのニ用タル

ト同シ格ニテコノヲをニ用ルニヤ
淮モ葉々コノニテ吳コノトモモトモ
呼ハ回迴モコノ音アルレキニ非ス

あう 證應 漢ナリ 侯謳嘔鷗歐 以上漢シ吳 ○右開音
ニテ開轉ニ屬ス ○万葉十八ニ應ヲカノ假字ニ用タリ

をう 東公羽雍公瓮雄 登泓 遇嫗 ○右合音ニテ合轉ニ屬ス
○泓ハ廣韻ニ乙肱反ニテをノシ
第四十三 又鳥宏反ニテコノシ
第三十六

轉ニ 又玉篇ニテハ於昂反ナレバウシ雄ハ吳音ノカハゆカナルベケレモ
屬ス 常ニをノト呼ラ故ニ此ニ出ス 漢ハハ 嫗ハ鳥遇反ナレバ是モウカハゆカナルベ
ケレト常ニをノト呼ラシ

あう 豪奥襖媪 唐鶯盎陽 央殃鞅 耕櫻
以上三字吳シ 漢ハハヤ

ケレト常ニをノト呼ラシ

あう 豪奥襖媪 唐鶯盎陽 央殃鞅 耕櫻

鸚鵡 鸚鵡 鸚

以上五字漢音 吳ハイヤ

○右開音ニテ開轉ニ屬ス

○日本紀ニ鞅ヲわノ假字ニ用ヒ和名抄ニ鸚鵡實阿字之智トアルナドヨ

ク合ヘリ又后書ニ襖子ヲ阿乎之トアルハノ韻ヲをニ轉ジテ御國言

ノ如ク云ナセル例ニテ芭蕉ヲもせをむト云ヒ拾遺集物名ニ紅梅ヲ隱

レテ鸚鵡の巢作^{ウレヒス}枝を折つとバ子^{ウレヒス}をばい^{ウレヒス}をう^{ウレヒス}むとすん^{ウレヒス}今ノ本ニ

コウハハセウトルハ誤シサテハ語ヲ成サヌナリナドノ如シ又万葉ニ果字ヲクハノ假字ニ所ク用タ

ルハノ韻ノ餘ノ例ニ異シメツラレキナリ韻ヲをひふハニ用ルハ入声字ノ例

集加之乎トアルハ入声韻ノ例ニ異シコレモメツラレ入声字ノ韻ノ字ハ皆いひふハニ通用セル例ナルト上ニ云ルガゴトシ

コウ

陽

王

往

枉

旺

唐

汪

虻

皇鳳黃庚横 皇以下四字吳ナリ漢ハヤウ

耕

泓

○右合音ニテ合轉ニ屬ス○王以下四字反切ニツキテ論アリ下

ノキヤウノ音ノ處ニ云ヘシ

あ

狎

狎

鴨

押

壓

合

凹

○右開音開轉ニ屬ス

お

痕

恩

欣

殷

慇

破

隱

以上四字吳音漢ハイヒ

右

開

音

ニテ

開

轉

ニ

屬

ス○破ヲ日本紀ニおノ假字ニ用ヒ續日本紀

ニ

姫

ヲ

音

那

ト

カ

キ

和名抄ニ陰陽寮ヲ於牟夜字乃豆加佐トアル

ナド

皆

假

字

ノ

格

ヨ

ク

合ヘリ或說ニ恩ニおントをんトニツ

を

魂

温

蒞

穩

元

表

遠

園

以上六字吳音ナリ漢ハエン

ニ

テ

合

轉

ニ

屬

ス○表

遠

怨ハをノ假字ニ用ヒ和名抄ニ紫苑ハ之乎迹ニ見

工同物ヲ古今集物名ニモ来^レ。香^{ニホヒ}トカクセル皆假字合^レリ

おく 職 憶 臆 億 以上呉^ニ漢^ハハ ○右開音開轉ニ属ス ○憶億ハ假字ニ用

をく 屋 屋 ○右合音ニテ合轉ニ属ス

おつ 迄 乙 呉ナリ ○右開音ニテ開轉ニ属ス ○和名抄山城ノ郡名乙

訓ハ於止久迹假字ノ格ヨク叶ヘリ

をつ 没 頤 膺 月 越 此字呉^ニ漢^ハハ ○右合音合轉ニ属ス ○越ハ^ニ用^タリ

○加^レ行^レ之^レ假^レ字

き^い 尤 九 鳩 仇 久 灸 咎 枢 臼 舅 舊 求 裘 迷 救 究

非 丘 蚪 糾 糺 糗 麤 廐 休 朽 牛 以上漢^ニ呉^ハハ 東 弓 躬

窮 宮 以上四字漢^{ナリ}呉^ハハ ○右東ノ韻ノ者ハ實ハ^キヤ^ノ音ナレ^ドキ^ヨン

キ^ヨク^キヨ^ツ等ノ音皆^キン^キク^キト^ト直音ニ轉ジ^テ呼^レ例ナレ

ハ是モ^キト^ト書^ベキ^コト^トヤ^ノ等モ是ニ准ズ^レ

きふ 入^ノ聲 緝 急 及 汲 吸 笈 給 泣 翕 歛

かう 豪 高 蒿 稿 鎬 鬲 豪 膏 毫 告 浩 誥 皓 敖 傲 噉

齧 羔 饒 臯 翱 棹 好 尻 考 號 耗 昊 顯 杲 囂 唐 罔

綱 剛 鋼 康 糠 糠 尢 抗 吭 亢 航 昂 陽 仰 向

香 鄉 強 以上六字呉^{ナリ}漢^ハハ 庚 庚 坑 行 衡 更 梗 鯁 硬 亨 杏

羹 以上十一字漢^ニ呉^ハハ 耕 幸 倖 耕 耿 鏗 莖 以上六字漢^{ナリ}呉^ハハ 肴 肴

殺膠父交絞效咬郊効狡校校孝教巧樂以上十七

字漢之 [江] 江杠扛舡項講巷港降絳舡以上十一字漢ナリ吳ハ二

[清] 迎此字宜京及ニテ漢音ハ吳音ナレバ佛書ニ來迎ト呼故此ニ出マ ○右豪韻ノ者ハハハノ假字

カノ疑ヒアルベレ古書ニ此韻中ノ高字ヲ云。刀字ヲ云。保實褒報袍ナド

ヲハ。毛字ヲ云ノ假字ニ用タレバ此韻ハ吳音凡テ皆第五位音ハニニ

のうきりりナルベレモ云ベケレド猶正音ハ第一位ノ音

らナルベキニ其故ハ万葉十五ニ草ヲ云ノ假字ニ用ヒ果ヲカノ假字ニ用ヒ

和名抄ニ筑前郡名早良佐波良安藝郷名造果佐宇加ニ夕草履

佐宇利馬道米多字。微道古多字。襖子河平之馬腦女奈字ナ

トアルコレヲミナ豪韻ノ字ニテ第一位音ナル證ニ然ルヲ第五位音假字

ニ用タル通音ニテ耐廼タイタイ苔ヲ云ニ用ヒ廼乃ノイヲ云ノニ用タル類ナルベレ又次ノ

唐陽韻ノ格ヲモ考ヘ合ベレ。○唐陽韻ノ中ノ望忘莽等ノ字ヲ古書ニモ

ノ假字ニ用タルアレモ是モ通音ニテ正音ハ第一位音ナルヲ豪韻ニ同ジ

即カノ望莽ヲ云。假字ニモ用ヒ又方房芳防ヲ云。莽裝藏相ヲ

云。當黨宕ヲ云。浪ヲ云。囊ヲ云。又云ニ用ヒ鞅ヲ云。又云今集

物名ニ百和香ヲ隱シテ。くそ。く。く。く。し。と。ふ。ト。ヨ。ニ。和名抄ニ。瘡ヲ

佐宇トアルナドヲ以テ知レシク入声ノ韻。鐸。藥。ナルニテモ明ケレ。○庚耕

ノ韻モ入声ノ韻。陌。來。タルニテ第一位音ナルヲ論テ古今集物名ニモ

黄簧 皇以下八
字吳ハコウ 庚横 漢ナリ
吳ハコウ 觥礦耕 宏閑轟嶸

かふ ハ 合合蛤閤洽 洽恰恰夾峽盍 盍盭狎甲

匣狎 狎ハ吳
あふ ○右合洽盍狎韻ノ諸字第一位ノ音 あふふふふたふ
あふふふふたふ

○右庚韻耕韻ノ吳音キヤノナルコトハ其入声格客ハキヤク又

唇音ノ拍白ハシヤク隔ハキヤクナルコトヲ以テ知ベシ凡テ此韻皆倣之

○清音韻ノ吳音モ又其入声ニテ知ベシ○陽韻ノ匡以下七字第卅ニ轉

字ニ用ヒ答ハタル雜ハキヤ合ハク及等ニ用ヒシコト上ノソノ音ノ下ニ

引ルガ如シ但シ合狎ニ韻吳音ハ第五位ノ音 あふふふふふふ
のふふふふふふ ニナル歟

其故ハ合字ノ平声含字吳ハあむナリ問字ノト声感去声紺トモニ

こむト呼 河内ノ地名ニコムト云アリ是ヲ仁德紀
感玖神名式ニ感古和名抄ニ紺トカレタリ 又和名抄ニ衲ヲ能

ふ 入 業業劫怯 以上吳ハ
漢ハヤム

きやう 陽薑姜疆疆羌強纒印仰香享向郷嚮

響響饗 以上十六字漢
ナリ吳ハコウ 匡筐狂誑況况庾行杏更

梗 以上四字吳
ナリ漢ハコウ 耕莖耿 以上二字吳
ナリ漢ハコウ 清京卿敬驚慶輕

頸景竟境鏡競傾頃兄 以上十五字吳
ナリ漢ハコウ 青經形刑 以上
三字

○右庚韻耕韻ノ吳音キヤノナルコトハ其入声格客ハキヤク又

唇音ノ拍白ハシヤク隔ハキヤクナルコトヲ以テ知ベシ凡テ此韻皆倣之

○清音韻ノ吳音モ又其入声ニテ知ベシ○陽韻ノ匡以下七字第卅ニ轉

レバナリ猶考スベシ

二属ス此轉合ニ然ルニキヤウハ合音ニ非ズ開音ニ依テ按スルニ匡ハ去王

反狂ハ巨王反等ナルニヨルトキハ實ハクハノ音ナルト思ニ其韻字ノ

五ハ雨カ及方ハ府良及ニテ実ハ漢ニヤウ具ナラシナレバ實ハ漢イヤウ呉カハ是ニ依ルト

キハ匡等キヤウノ音ニテ合リ然レバ此合音ノ例ニ非ズソノウヘ王字モ反

切ニカハラズトト呼フ是合音ノ例ニ叶ヘリ又其上声ノ往字モ于兩反

去声ノ旺字モ于游ウヒキ及ニテ反切ニヨレハ共ニ漢イヤウ具アヘナルキヲ且

トト呼フ王字ノ格ニ然レバ匡等ヲキヤウト呼フハ合音ノ例ニ違ヘ反

切ノ奉字ニ叶ヒ王等ヲキヤウト呼フハ反切ニ違ヘ反合音ノ例ニ叶ヘリ互ニ

如此ナルヲイカサニモ所以アルヲナルベシ○清韻ノ傾以下三字是モ第三十

四合轉ニ属ス然ルニ多ハキヤウ共ニ開音ナルコトハ此轉ハ第三等第四等ハ

皆開音ノ例ナルヲえハノ音ノ下ニ云ルガ如シ

きよく

鐘 共 供 拱 恭 養 恐 蛩 邛 凶 冑 兕 龔 顛

以上十四字漢ナリ呉ハク 蒸 興 矜 兢 凝 以上四字漢ナリ呉ハク ○鐘蒸韻ノ假字ハ声ニテ知ベシ

きう

肴 肴 敬 膠 交 絞 效 咬 郊 効 姣 校 校 孝 教

巧 樂

以上十七字呉ナリ漢ハク 宵 喬 驕 矯 橋 蕭 堯 曉 皎 叫

竅 徽 梟 翹 澆

きふ

聲 入 帖 叶 協 夾 俠 頰 莢 狹 愜 篋 葉 挾 業 業 劫

怯 脅

以上四字漢ナリ呉ハク

○さ行之假字

尤 周秋愁啾秀州洲酬囚酋適收鄒搜蒐

臭袖岫醜讎舟羞繡獸脩修首受授皺就酒

手守狩聚驟 以上漢ニ
吳ハモ又ト 柔蹂 漢ナリ
吳ハモ

東 衆終充嵩蝨 以上漢ニ
吳ハモ 戎 漢ナリ
吳ハモ 鍾 從縱 漢ハ
モ

ハシ吳音モナレバ常ニ
ニモ引テ呼ビ出マ 虞 主趨戌 右モ引テモ引テ別ニ

舉ル故ハモントモ引。モトモ引。モトモ引。是ラ皆別ナル

例ナレバ○虞韻ノ者ハモ引ニテモ引ト引ベキ音ハ非レバ常ニ引テ

呼例多シ和名抄 乳酪和名迹字能可遊トアレバ 乳 虞
韻ナリ 引モヒカコ

トニアラス又此例ニ依バヨヲ省テモ引ト書ニモアレバレバテ虞韻皆倣之

入 緝 十什汁拾入 習摺褶執集緝緝輯

澀濕濕襲

豪 早草阜造慥曹糟漕遭臬操藻燥諫蚤

搔騷嫂艘竈束掃 唐 倉蒼滄臧藏桑顛獎葬

喪 陽壯莊狀牀裝妝床相想霜箱箱瘡創爽

鏘象像 以上陽韻字漢吳共ニモ引ト呼フ者アリ漢ニモ引ナル者アリ又漢モヤリ吳モ引ナル者アリ是ヲ韻鏡ニ考ルニ第二等ノ

字ハ漢ニモ引吳ニモ引第三等ノ字ハ漢吳共ニモ引第四等ノ字ハ漢ニモ引吳ニモ引大抵如此然レモ其反切又餘ノ牙喉半舌齒等ノ音ノ字ノ例ニ依ルトキハ右ノ如キ差別ナク九テ漢 庚 鎗 倉 漢ナリ
吳ハモ 耕 爭 嶢 諍 箏 以上四字

漢ナリ
看ナリ稍稍靴爪抓抄鈔巢鑲以上九字漢ナリ江雙

雙淙以上五字漢ナリ牕窻

東恩蔥總聰驄送菱梭梭般叢崇以上十二字漢

冬宗綜宋以上三字漢侯走叟趣以上十二字漢

奏輾湊簇藪漱嗽以上十字漢登曾僧增贈憎贈以上十二字漢

層江雙雙淙牕窻以上五字漢

○古書ニ宗曾贈增層ナドヲソノ假字ニ用タリ

合雜颯币洽甫挿盃卅狎嬰

陽章樟障彰昌唱菖倡娼尚商常掌敞

嘗賞裳將髡醬漿牆詳祥庠翔匠餉傷觴殤

上以上常ニ漢壯莊狀牀床裝妝以上常ニ漢相湘象

像以上常ニ漢裏讓穰壤攘釀以上六字ハ日母ニ屬スルハ耕

爭諍箏以上三字漢清清情精諳晴生性姓牲青

笙正政征鉦成城誠盛淨靜井省聲聖以上二十

青青晶星猩醒以上五字漢○歌書ナドニモ音ヲ直音

ニ轉ジテモト云ル者多シトキモヤハハカクハセト書ヘシ

鍾鐘種腫衝榘誦松訟頌從縱蹤春

蠢悚竦以上十七字漢茸穴此二字ハ蒸稱升昇證勝丞

蒸拯承繩漚乘仍

せ

看梢稍抄鈔鏢

以上五字吳
方漢ハ

宵

召昭照韶招邵

詔沼紹小少肖宵消蛸銷硝逍焦蕉樵醮

笑椒釗燒。堯饒繞擾堯以下四字
ハ吳ハ蕭蕭蕭嘯瀟

せ

入聲

葉

妾接攝捷睫婕涉淡變葉

附肩
反先結

○た行之假字

ち

尤宙抽紬胄丑紐肘紂耐籌儔疇晝稠惆

糶

以上十六字漢ハ吳ハちト呼ベキ例ニ
但レ惆糶ニ字ハ吳ハちトナレベシ

ち

東中仲沖仲忠蟲衷鍾重此字吳ハ
漢ハちト虞柱挂

注註駐住株誅蛛廚踰以上鍾韻虞韻ノ者実ハちトナレドモ
常ニちトト引テ呼フ故ニ此ニ出ス

侯

頭偷

二字漢ハチトシ吳ハチト然レ正偷字
常ニちトト味頭モ塔頭饅頭トキ然

○右ちトトちトト

別ニ舉ルハちトトちんちムトちヨリ是ヲ別ル例ニ依コト志ユル音

ノ下ニ云ルト同ジ

ち

入聲

緝蟄繫

た

豪稻蹈滔韜刀叨挑逃到倒道導濤禱陶

荀討嶋悼盜獠饗轟唐唐塘糖當堂棠黨

儻湯蕩盪宕若耕打橙以上二字漢ハ
吳ハちヤ看棹吳ハ
ト撓

吳ハ 江 幢漢ナリ
吳ハ

あふ

聲

合納衲

以上漢ハダシハ呉ウメ正書ベキ歟
其由ハ上ノカク音ノ下ニユルカ如シ

あやう

陽

嬢娘

ニ字呉ハ
漢ハチヤウ

あよう

魚

女

漢ハチヤウ
呉ハオヨシ

○女院女御女官女房ナドトキ引、故ニ出

セリ是ハ八日ヲヤウク牡丹ヲゲクハト云類ナリ

あろ

肴

饒

呉ナリ

宵

饒

漢ハダシ

蕭

尿

溺

呉ナリ

あわ

帋

捺

呉ナリ

あう

尤

柔

漢ハダシハ呉ハオウ
ナレハ常ニオウト呼

虞

乳

漢ハオウシハ呉ハオウナレハ和モ
抄ニモ近字トナリ常ニモ然リ

あふ

緝

入

呉ナリ

○ト行ノ假字

えう

豪

保褒裒寶報袍抱暴。毛耄冒帽

毛以下四字漢
ナリハオウ

唐

傍

滂

榜

茫

莽

莽以下四字漢
ナリハオウ

陽

方

芳

房

訪

防

妨

坊

放

髻

亡

妄

罔

望

芒

吳ハ

庚

亨

烹

盲

亡

孟

以上七字漢ハ
彭以上三字呉ハ
亡以下四字呉ハ
ナレハ又オウト呼

耕

棚

漢ナリ

萌

甍

二字漢ハ
呉ハオウ

肴

包

苞

庖

胞

咆

豹

茅

卯

昴

貌

以上十四字漢ハ
豹以上十字ハ
ハハハ茅以下四字ハ
オウハオウ

江

邦

龐

蚌

庀

庀

以上五字漢ハ
蚌以上三字ハ
オウハオウ

ほう

東

蓬

鳳

龐

豐

贈

夢

蒙

蠓

曹

但シ常ニ
ト呼ラ者モアリ

鍾

封

峯

逢

烽

鋒

縫

奉

捧

俸

ぢ 自示次視辭慈事字兕寺侍時恃似妙。二貳
耳餌珥兒爾尔通而

○自辭貳餌珥兒尔時ナド古書ニ^ぢノ假字ニ用タリ

ぢ 治持痔。尼臍備。附除此字除目ノトキ^ぢノ音ニ呼フ又
神名式ニモ^ぢノ假字ニ用タル所アリ柱ぢ琴

○尼臍ヲ日本紀ニ^ぢノ假字ニ用タリ和名抄ニ痔知乃夜^ハ比

ぢや 蛇虵邪閣謝麝射若 **ぢや**

ぢぢ 樹壽受授就頌鷲聚娶賢。需儒孺濡。有入

ぢよ 序敘徐舒助鋤恕絮。如汝茹茹

○序敘鋤茹ナド古書ニ^ぢノ假字ニ用タリ

ぢよ 除杼篠絮。女○杼ヲ古書ニ^ぢノ假字ニ用タリ

ぢひ 神深甚尋賢盡燼迅訊。人仁刃忍仍壬任

妊衽絰荏 **ぢひ** 陣沈塵

ぢゆひ 淳惇諄醇鷄准隼準盾循楯閏潤順馴

旬巡純遵 **ぢゆひ**

ぢく 孰肉 **ぢく** 竺軸軸紐

ぢやく 寂鵲雀。若弱 **ぢやく** 著

ぢゆく 粥熟塾 **ぢゆく**

ぢゆく 辱蓐褥 **ぢゆく** 濁

通用スベシ無武務年等ノ音ニハ必スヒラ書ベレントハ書ニシキコト
猶んノ音ノコトハ論アリ三音考ニ委ラズリ

字音假字用格終

安永五年
丙申春發行

書林

勢州松坂日野町 柏屋兵助
同所本町 田尻屋正藏
京都寺町四條上町 錢屋利兵衛

西京

書肆

丁子屋榮助

紅印

書報

西京

丁子...

紅印

Handwritten notes and stamps in the bottom right corner, including the characters '丁子' and '西京'.

